

令和元年度 学校関係者評価報告書

大阪市立堀江中学校 学校協議会

1 総括についての評価

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】より

【全市共通目標】について、「いじめ」「暴力行為」「校則」についても目標の数値は全てクリアし、目標は達成している。しかし、懸念される点は、昨年度に比べて「不登校」の数が大幅に増加していることである。全ての不登校生に対して関係諸機関と連携しながら対応されているので、今後の改善を期待したい。

【学校園の年度目標】についても概ね目標は達成できているが、校内美化という教育環境については課題がある。普段の清掃活動を中心に美化活動の強化が必要である。

また、今年度から教科化となった「道徳」においても、教科を通して人間としての生き方を学ばせ、豊かな心が育成できるよう、さらに充実させてほしい。人権教育として、「障がい者学習」「L G B Tについて」を取り上げられたことは現代の人権教育の観点においても重要であり評価できる。一人一人がお互いに違いを認め合い、助け合うことで、未来社会を豊かに生き抜くたくましい子どもを育ててほしい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】より

【全市共通目標】について、チャレンジテストにおける標準化得点でみると、全学年とも昨年度よりも上回り目標を達成できた。特に、府平均を2割以上上回る生徒の割合が昨年度よりも3年生では3.9ポイント、2年生では6.9ポイント上昇し成果が上がった。学力向上に向けた取組の成果が徐々にあらわれてきたようだ。「I C T機器の活用」「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること」もこれからの時代に応じた学習方法および形態である。今後とも、テスト結果を検証し、成果と課題を明確にし、今後に向けての具体的な方策を最大限に活かして学力向上にご尽力いただきたい。

体力面では、運動場が狭く運動に適する環境が不十分ではあるが、シャトルランの過去3年間の結果から男子が 80.75→84.49→85.86 ポイント上昇しているのは大きな成果である。しかし、女子は昨年度に比べて 5.95 ポイントも減少し、H29年度とほぼ同じ結果となったのは少し残念である。今後も体育の授業の工夫や部活動において、文武両道で体力の向上に向けてご尽力いただきたい。

【学校園の年度目標】について、学校評価アンケートより今年度も「家庭での復習」についての課題があるが、Web配信の教材「ラインズ e ライブラリ」の導入を図っておられるのは現代の時代に大変マッチしていると考える。さらなる周知をしていただき、浸透させてほしい。

【その他】より、言語活動に関するコンクールや検定、各種大会および作品募集等の参加は年々充実し、子どもたちの意欲や成果も高まっていることは大変評価できる。特に、今年度から実施している2年生対象の「文章力検定」を今後も継続し、子どもたちの学力向上とともに個性の伸長についても、ますます期待したい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

年度目標の評価の個数はAが8つ、Bが3つ。また、年度目標の達成に向けた取組内容の達成状況の評価の個数はAが5つ、Bが3つ、Cが1つである。

特にC評価がついている校内美化を含めた環境整備を次年度は強化していただきたい。生徒増に伴う学校の狭隘化問題において、生徒のストレスを少しでも緩和するという意味もあるのでよろしくお願ひしたい。他の項目については、目標に概ね達成していると評価する。

生活指導上の問題は、いじめや暴力が発生しても早期対応することで解消されていて、安心・安全が実現されている。また、不登校については、一人でも多くの生徒が登校できたり、自立に向けた改善ができたりするよう丁寧に対応していただいている。家庭・学校・関係諸機関（こども相談センター・区役所子育て支援・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）とも連携することで、一人一人の生徒の状況や背景に応じて、今後も粘り強く支援を続けてほしいと思う。

取組内容については、地域や元気アップ事業コーディネーターとも連携し、きめ細やかく細やかなところまで目標を定め取り組んでいただいている。読書活動では、「おはなし会」という図書館補助員による「読み聴かせ」や、1年生による「ビブリオバトル」は今後も継続していただきたい活動である。

また、自然災害、健康や安全、事故防止等、いつ起こるかわからない緊急課題に備え、集団下校の仕方を新たに加えて避難訓練もされている。子どもの命を何よりも最優先して教育していただいていることは大切なことだ。

狭いグランドで十分な運動がしにくい状況だとは思うが、子どもたちは学校生活を有意義に過ごしている。安心・安全の構築をさらにお願いする。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

年度目標の評価の個数はAが2つ、Bが5つ、Cが3つ。また、年度目標の達成に向けた取組内容の達成状況の評価の個数はBが4つである。今年度は学力向上の取組の充実を図ったことで、昨年度よりも評価は上がった。

「中学校チャレンジテスト」の結果については、標準化得点でみると全ての学年でアップし、目標を達成できている。テストに対する教員および生徒の意識が高まっていると感じる。この調子で次年度も頑張ってほしい。

今年度も家庭学習の定着が学校の重要課題のひとつになっているが、今年度導入された「ラインズ e ラーニング」の有効活用を図り、保護者・生徒への周知徹底が必要だと思われる。学校の授業の復習が楽しくかつ分かりやすくできるよう、I C Tを活用した学習方法の指導や環境整備等の充実をお願いする。一方、基本的な生活習慣・学習習慣の確立において、チャイム着席等、授業規律の指導をしていただいているが、家庭でのしつけや習慣でもあると思われる所以、引き続き家庭との連携をお願いする。

I C T機器の活用や生徒同士の話し合い等を授業に導入することで、生徒の授業に対する姿勢や意欲、思考が高まることはとても評価できる。今後もさらに授業研究の取組を充実させてほしい。

体力・運動能力の結果については例年と同様に課題も多いが、今年度は2年男子の持久力の向上が見られた。ふだんの授業の様子や体育的行事への取組の様子、運動部の活動の様子からは、運動やスポーツを楽しみ、意欲を持って取り組んでいる様子が伺われる。引

き続き、体力の向上をめざし、他の種目についても結果に表れることを期待する。

学校図書館が、読書センターおよび学習センターとしての機能が高まってきたことが実感できる。今後も、読書活動の取組を、引き続き充実させていただきたい。

目標達成に向けた取組内容や指標、その結果と分析について、達成状況が全てB以上になることを期待している。

年度目標：その他

コンクールや検定への取組は今年度も高く評価したい。昨年度と同様に、子どもたちが自ら取り組む姿勢がよい。思考力向上を目的とした2年生を対象とした「文章力検定」も新たに取り入れられたことは評価に値する。今、社会でも求められている力を中学校時代から育成しておくことは大切なことである。また、他の分野においても応募し、受賞する生徒が増えたことは誇らしいことである。また、全校集会で紹介し表彰したり、ホームページ等で公表したりすることで、さらに自尊心が育ち、意欲が高まっていくと思う。生徒の個性を伸ばしてさらなる高みへ向けたきっかけにもなるので、今後も継続してほしい。

3 今後の学校運営についての意見

今年度も学校長の経営方針を教職員が理解し、よりよい学校づくりのために一丸となつて努力されている姿が明確に示されていると感じる。新たな取組も開発され、今の時代に応じた先見の明を持たれて教育活動が行われている。新学習指導要領が完全実施されるタイミングで多くの教育活動が大きく転換することと思われますが、子どもにとって有効なものほどどんどん取り入れて、未来の時代を背負う子どもたちの育成に全力を尽くしていただければありがたい。堀江中学校が令和4年には移転しさらなるマンモス校として開校されることになるが、現在の落ち着いた校風と秩序正しさを保ち、子どもたちが一生懸命に教育活動に没頭できる環境が今後も継続されることを望んでいる。

協議会の意見交換でも議論されたように、学力の向上、生徒・保護者との関係づくりにおいて、今後もさらなる発展に期待したい。データの数値化等も含め、協議会資料作成にご尽力いただきありがとうございました。教職員の皆様方には、いつも生徒のためにご尽力いただき、ありがとうございます。保護者への啓発活動もよろしくお願ひします。